



Bーぐる沿線協議会ニュース

第24号

令和3年1月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課コミュニティバス担当 03-5803-1387

令和2年12月18日に委員改選後初めての沿線協議会が開催され、令和2年度上半期の運行実績等が報告されたほか、第3路線ルートの概要説明と意見交換がありました。

令和2年8月に1,000万人に到達も、コロナ禍で大幅に利用減

会議の冒頭、前期からの続投となった元田会長から「Bーぐるも14年目に入った。今年はコロナ禍で従前とは状況も変わり、この先の対応が問われる。また新路線ができる節目の年でもある。委員の皆様とともに尽力していきたい」と挨拶がありました。

日立自動車交通(株)宇田委員から、令和2年度上半期Bーぐるの利用状況について、令和2年3月末時点の乗車人数は累計980万人、令和2年8月に1,000万人を突破した。しかし今年上半期はコロナ禍により、対前年同月比で約6割減の月もみられるなど大幅なマイナスの状況と報告がありました。「このような未曾有の状況ではありますが、しっかり感染防止対策等を行い運行していくので、一人でも多くの方にご利用いただけるよう、皆様のお力添えをお願いしたい」と述べました。

元田会長から、コロナ禍によって公的支援の条件となる数値（一日一台当たり300人）の見直しに関する質問があり、区民課福澤委員は「コロナの影響により厳しい環境でもあり、条件にする数値の変更等についても検討する必要があるかと思う」と回答しました。出席委員からは「数字は



一日平均乗車人数の比較 上半期（令和2年・元年）

	千駄木・駒込ルート			目白台・小日向ルート		
	2年度	元年度	前年同月比	2年度	元年度	前年同月比
4月	534	1,375	-61%	424	1,215	-65%
5月	563	1,342	-58%	408	1,181	-65%
6月	978	1,453	-33%	845	1,317	-36%
7月	999	1,446	-31%	932	1,330	-30%
8月	1,008	1,439	-30%	923	1,322	-30%
9月	1,115	1,452	-23%	1,042	1,327	-21%

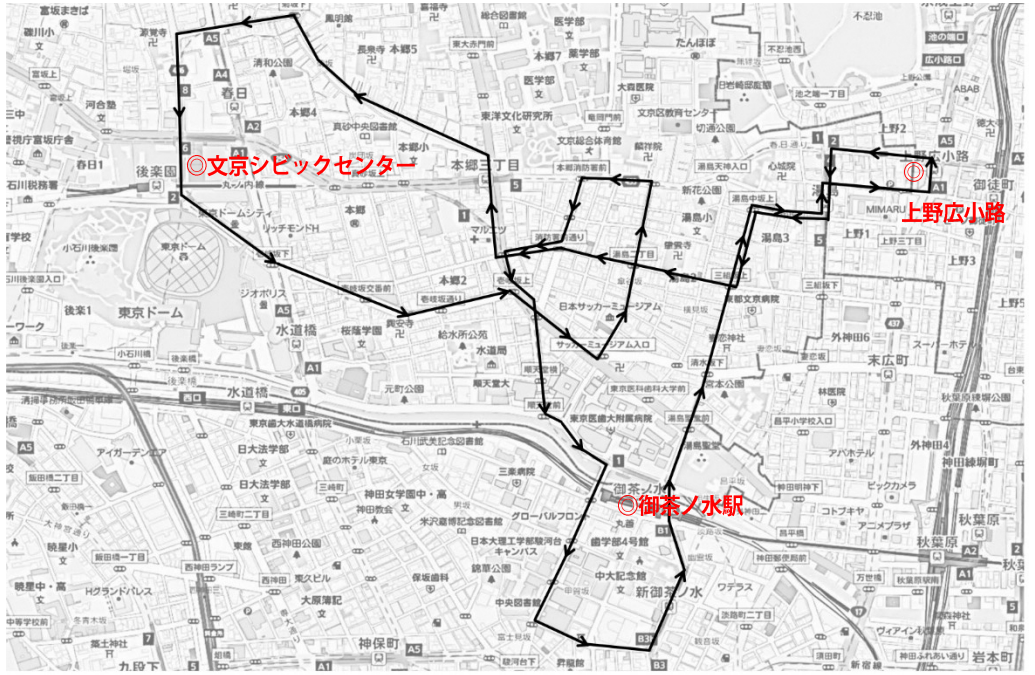
さておき、こうした厳しい状況の中で1便の欠便もなく運行していただいていることに感謝したい」と称賛や激励の声も挙がりました。

第三路線の概要決まる

本郷・湯島地域に導入される第三路線の概要が示されました。文京シビックセンターを起終点とした一方方向循環型路線で運行距離は8.5km、所要時間は約50分で、7時台から19時台に20分間隔で一日38本の運行です。「区民アンケートの結果や福祉的・観光的視点も考慮した」と区民課福澤委員の説明がありま

した。区では12月に住民説明会を開催し周知を図ってきましたが、今後は各関係機関との協議・調整を進め、令和3年2月を目途にバス停を決定、3月に関東運輸局に認可を申請した後バス停等の工事に着手等、令和3年度上半期の運行開始に向けた準備を進める予定です。

第三路線事業認可申請予定路線図



出席委員からは、「町会連合会の集まりではなぜ千代田区を通すのかという意見も出たが、よく見てみると病院や大学などを通っており、よく考えられたルートだ」と賛同の声が多数挙がり、福澤委員も「区外を通りつつも文京区民の皆様の利便性が高まることを期待したルートになった」と感想を述べました。

また質疑応答を通じて、「シビックセンターバス停は多くの路線が入り現状でも利用者も多い。歩道の道幅も狭く混雑が心配」、「新路線には病院や学校も多く、採算性の上からも協賛企業の募集は早目に開始」等の意見も出され、今後の取組課題が明らかになりました。

最後に事務局から、新路線の車両やバス停のデザイ

ンについて、次回以降の沿線協議会で出された意見やアイデアを取り入れながら検討を進めていきたいと協力の要請がありました。

ちはやふるラッピング運行で「かるたの街・文京」をPR

アカデミー推進課から、文京区で進めている「かるたの街・文京」発信の一環として、競技かるたの人気アニメ「ちはやふる」とタイアップしたBーぐるバスのラッピングとオリジナル一日乗車券の販売に関する説明がありました。ちはやふるでは、大塚かるた記念会館や教育の森公園及び出版元である講談社等、目白台・小日向ルートに沿線も登場することから、同ルートのBーぐる1台がラッピング運行されます。期間は令和3年1月12日から令和5年2月までを予定しています。



服部坂を力走する
ちはやふる号

また、ちはやふるとコラボした一日乗車券も販売されます。イラストは3種類、文京区観光インフォメーションで販売されます。区は区報をはじめ、ミュージックマップ等の刊行物のほか、作者にもSNSで発信してもらう等、幅広く周知して行きたいとのことです。



ちはやふるデザインの一日乗車券

編集後記

新しい委員を迎えて、初回から白熱した意見交換となりました。本郷・湯島地域に導入される新路線のルートには皆さん関心が高いようでした。令和3年上半期の運行開始に向け、関係者は大忙しだと思いますが、沿線協議会の一人ひとりがその一助となることを願ってやみません。(N)